

科目名		授業形態	担当教員名	
リハビリテーション医学		講義	金谷 貴子・山本 洋之	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
1-4回；リハビリテーション医学の総論を評価法、診断法、治療をふくめて理解いただく。各論では運動器疾患を中心にリハビリテーションの進め方を講義する。5-8回；リハビリテーション医学の範囲は、運動器系、神経系、内科系と大別できるが、その中の神経系の障害像としての痙性麻痺、失調と固縮の病態について概説する。また、内科系の中でも特に言語聴覚と関係の深い呼吸器系の病態と症状について概説し、検査方法を体験実習し、それら疾患についての理解を進める。				
授業の到達目標				
リハビリテーション総論、運動器疾患、痙性麻痺、失調、固縮や呼吸障害について、言語聴覚士としての基礎的な知識を整理し、臨床と関連づける基礎を養う。また、正しく医学用語を理解し、使用できることも目標とする。				
授業計画				
回	内容			
1	リハビリテーション総論、診断法、評価法、治療法		(金谷)	
2	運動器リハビリテーション各論～外傷のリハビリテーション		(金谷)	
3	運動器リハビリテーション各論～脊髄損傷		(金谷)	
4	運動器リハビリテーション各論～関節疾患、関節リウマチ、切断肢		(金谷)	
5	神経系疾患の病態について ～神経経路と痙性麻痺～		(山本)	
6	神経系疾患の病態について ～失調と固縮～		(山本)	
7	呼吸器疾患の病態について ～呼吸器の解剖と生理学の整理と呼吸障害～		(山本)	
8	呼吸器疾患の病態について ～呼吸器の障害における検査方法と演習～		(山本)	
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	60%以上を合格とする。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
目で見えるリハビリテーション医学	上田敏		東京大学出版会	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				